

旭丘高校教育通信

-春の小セミナー（体験・交流会）特集号・Part II-

あなたの居場所と夢を見つけよう
自分らしく学べる高校会員をサポートします

旭丘高校にアクセスできる機会が増えました！

新型コロナウイルス感染症拡大の状況がつづく中、旭丘高校では、十全な感染防止策を講じて春の体験・交流会に皆さんをお迎えします。しかし、それでも出かけるのが不安という方がいらっしゃるかと思います。また、参加したいのだけれど部活動や学校の行事で都合がつかないという声も寄せられています。そんな皆さんにも、旭丘高校の学校生活に触れ合い、相談を受ける機会を提供したいと、新たに2つの取り組みを位置づけました。

①春の体験・交流会にオンラインセミナー新設

※4回実施する春の体験・交流会の全てにオンラインセミナーを行います。

5/15(土)・29(土), 6/5(土)・19(土)の4回とも、**午後2時から**

生徒・教師・保護者が**旭丘高校の学校生活について皆さんに発信します！**

- ◆ “Youtube Live”を配信（14時からスタート）
- ◆ 皆さんの自宅等からパソコンやスマホなどでアクセスしてください。（下のQRコードからでも、本校のHPのバナーからでもアクセスできます）

5/15(土)

5/29(土)

6/5(土)

6/19(土)



②いつでも相談できる「入試相談室」を平日は16時～20時まで、土日祝は10時～17時まで開設

「入試相談室」では担当の教員が、皆さんの学びや進路への願いを聴き取りながら、旭丘高校の授業やカリキュラムについて分かりやすく説明し、高校進学に向けたプランづくりをサポートします。

※保護者のみ、中学生のみでの相談も受け付けています。

※平日の日中、上記時間帯以外にも対応いたしますので、ご一報ください。

春の体験・交流会はこんな日程と内容です
～「ベーシッククラス」「スポーツ進学クラス」「国際クラス」「学業進学クラス」が対象。

日程 5/15(土)・29(土), 6/5(土)・19(土)

当日の流れ

第1校地(城内キャンパス)で開催

- ベーシッククラス(不登校生徒対象)と国際クラス・学業進学クラスの体験・交流会

※ベーシッククラスは保護者のみの参加もOK

13:00～集合・コース説明

13:15～授業体験

14:00～在校生と交流会

※終了後個別相談もできます。

第2校地(久野・荻窪キャンパス)で開催

- スポーツ進学クラスの第2校地見学・体験・交流会

13:00～第1校地に集合 ※久野・荻窪キャンパスへバスで移動

13:30～施設見学会と交流会

※終了後個別相談もできます。

現在旭丘高校では、進路・進学に係る情報機器を具備した「学習室」を第1校地と第2校地に設置する取り組みと、国際クラスとスポーツと学業の二つの進学クラスを対象とした海外研修制度・留学制度・短期ホームステイ制度の実施に向けた準備作業が進められています。

◎学業進学クラスとスポーツ進学クラス、国際クラスには特別奨学生制度があります。

特別奨学生制度は、卒業後に大学進学をする人を対象にしたもので、高校3年間の入学金・施設拡充費と授業料について給付型の奨学金が支給される制度です。奨学金制度には、「学業成績にかかる特別奨学生制度」と「スポーツ実績と個性（一芸）にかかる特別奨学生制度」の2種類あります。

★体験入学への参加や入試相談室での相談のお申し込みは旭丘高校事務（Tel:0465-24-2227）まで。
※右のQRコードからメールで申し込みも出来ます。



●裏面に昨年のオンラインセミナーでの在校生の発言を掲載。

昨年の7.25オンラインセミナーで配信された生徒代表の発言を紹介します！

Mさん（3学年ベーシッククラス）

【Q】なぜ旭丘高校のベーシッククラスを選んだのか？

【A】私は中2の三学期から中学卒業まで学校に行けていませんでした。高校は当初、通信制やサポート校を考えていました。旭丘のセミナーに参加し、自分と同じように進路に悩んでいた、ベーシッククラスの先輩たちの生き生きとした高校生活の話を聞く中で、もう一度学校生活をやり直そうと決意し受験を決めました。

【Q】ベーシッククラスの高校生活はどうですか？

【A】入学当初は、新しい環境に戸惑っていましたが、班長会や委員会活動に参加する中で、生徒会総務にも立候補しました。仲間と行事などに取り組んで行く中で、「こんな自分にも出来ることがあるんだ！」「人の役に立てるんだ！」と前向きに物事を捉えられるようになりました。また、高校入学が決まった時に見た母が流した安堵の涙で今まで自分がどれだけ両親に迷惑をかけてきたのかを知り、申し訳なさとありがたさでいっぱいになりました。

昔は色々なことを自分一人で溜め込んでいましたが、この旭丘高校で友達、先輩、先生に頼れる環境に出会えたことで、ストレスを溜め込ま無くなり、前向きに自分は自分でいいんだと思えるようになりました。

Oくん（3学年スポーツ進学クラス）

私は、スポーツ進学クラスの3年生で、相撲部のキャプテンを努めています。九州は大分県の中学校を卒業し、旭丘高校に進学しました。

【Q】旭丘高校のスポーツ進学クラスに進学を志望したのはなぜですか？

【A】私は小学校3年生の頃から相撲をやっており、高校でも相撲を続けて全国大会で活躍できる選手になりたいと思っていました。その時、旭丘高校で相撲部監督をされて

いる先生からお話を聞き、相撲の技術を伸ばして頂ける指導者や素晴らしい環境があることを知り、旭丘高校に進学を決めました。

私が一番驚いたのは、相撲場に土俵が二面もあったことです。高校相撲の稽古場としては珍しくとても感動しました。また、カリキュラムが工夫されていて、水曜日と金曜日の午後の授業と放課後のクラブ活動がつなげて取り組むことができ、より充実した練習を行えています。様々な機械や器具を使用した科学的なトレーニングが学べる「基礎体力」という授業もあり、旭丘高校を志望しました。

【Q】旭丘高校での学びと進路の目標について聞かせてください。

【A】旭丘高校の総合学科では、様々な選択科目から自分が学びたい講座を選ぶことができます。私が一番好きな授業は「基礎体力」です。この授業は、自身の筋力を鍛えるだけではなく、自分の身体を知ってコントロールするとともにメンタル面でのケアも学びます。そして、日頃の食生活や健康管理、スポーツを通して人や社会とどうつながるかということまで、総合的な学びができるのが魅力です。

私の将来の目標は、日本体育大学に進学して体育教員になる事です。そのきっかけを与えてくれたのが、中学校での相撲部の顧問の先生との出会いです。そして、旭丘高校の相撲部監督の先生をご紹介いただき、自分と真剣に向き合ってくれて、自分の気持ちや考えをしっかり受け止め伸ばして頂きました。その姿に、自分もこういう人になりたいという強い思いが生まれました。

【Q】これまで相撲をやっていて印象に残っていることを聞かせてください。

【A】今まで一番苦しかったのが、やはり新型コロナウイルスの影響で活動ができなくなってしまったことです。部員全員が3月の全国新人高知大会に出場が決まった矢先に、大会は中止になり、日常の部活動もできなくなりました。

それでもあきらめず、臨時休校期間も自主トレーニングに励んできました。

やっと最近になってクラブ活動が再開しました。久しぶりに土俵に立った時、以前は当たり前のように毎日使っていた土俵が、こんなにも広いものだったのかと、圧倒されました。そして、自分たちが恵まれた環境で稽古に励んで来れたことにあらためて感謝の念を覚えました。だからこそ、ここで負けてはいけないと強く思いました。

秋には、私たち3年生も参加できる大会が開かれると聞いたので、これからも初心にかえって稽古に励み、キャプテンとしてチームをまとめ一丸となって挑み、そして大会で活躍し、支えてくれた皆さんに恩返しをしたいと思います。

Oさん（1年総合学科国際クラス）

私は、総合学科国際クラス一期生です。日本で育った日本人ですが、海外のことにとっても関心を持っています。私の両親は、若いころオーストラリアやパラオなどの海外で留学生活や仕事をしていて、海外で知り合って結婚しました。そんな両親の海外での話をたくさん聞かせてもらって、自分も将来は海外に留学したいと思っています。

【Q】他の学校にも国際クラスがありますが、旭丘高校の国際クラスの魅力はどんなところですか？

【A】私は、将来留学する夢を叶えるために、高校で英語の語学力を高め、外国人の人たちとコミュニケーションをとる力を身に着けたいと思っています。旭丘高校の国際クラスは、英語の授業に力を入れているだけでなく、外国籍の人たちと学校生活を送ることができます。違った言葉や文化を持った人同士の交流ができるのが魅力です。

実際に国際クラスに入学してみて、みんなが自由にフレンドリーにかかわりを持つことができていて、とても楽しいです。

担任の先生が教室の後ろに大きな世界地図を掲示してくれました。自然とみんながその地図の前に集まって、お互いに自分の国を紹介しあったことは印象的でした。また、それぞれの国の手遊びを教えて一緒にやったりしています。私も外国の手遊びを覚えました。この間は放課後の教室で外国籍の友だちとみんなで“アルプス一万尺”をやって盛り上りました。

仲間とのかかわりを通して自分の世界が大きく広がっていく感じがして、自分が求めていたものがここにあるなと思っています。

Aさん（2年総合学科学業進学クラス）

【Q】中学校時代はどんな生徒でしたか？

【A】中学までは努力もしないで「出来ない」と決めつけていました。「分からない」や「出来ない」と言って逃げているだけでした。そんな弱い自分から抜け出したいくて、高校ではたくさんの仕事を率先してやろうと決意して入学しました。

【Q】なぜ旭丘を選んだのですか？

【A】中学生の時から、大学に進学して学びたいという気持ちは持っていました。学びたい事はたくさんあったのですが、しぶりきれず、高校生活の中で見つけようと思い、総合学科大学進学クラスを選びました。でもうちは経済的に厳しかったので、特別奨学生制度を活用して受験をしました。

【Q】旭丘に入って変わったことは？

【A】昨年度1年間、学年のリーダー機関の学年委員会で委員長を務めました。最初は人前に立つののが苦手で、震えていましたが、それにも慣れました。また、同じ学年委員やクラスのメンバーを信頼してみんなで行事の取り組みなどを進め、体育祭、文化祭では学年としての方針を立て、総括をしました。こんなことが出来る自分は、中学校の頃とは比べ物になりません。

【Q】将来の進路はどう考えていますか？

【A】私は生物学関係の4年制大学へ進学することを希望しています。私は海が好きで、船舶免許やダイビングの資格を持っています。海洋汚染やそれによる生態系への影響などに興味があります。地球規模で注目されている環境問題についての学びをもっと深め、将来につなげたいです。